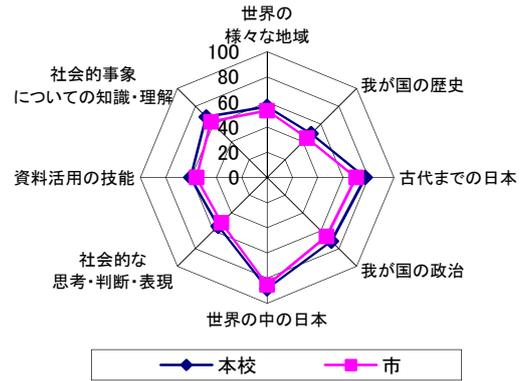


宇都宮市立豊郷中学校 第1学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の様々な地域	56.4	53.2
	我が国の歴史	49.2	44.3
	古代までの日本	77.5	70.2
	我が国の政治	71.7	66.3
	世界の中の日本	88.5	85.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	54.7	51.0
	資料活用 of 技能	60.3	55.8
	社会的な事象についての知識・理解	68.1	62.7



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	地理的分野は、資料活用 of 技能が見られる問題が多く、地図などの読み取りについて、一般的に正答率が低い傾向が見られた。その一方で、世界各地の人々が住む家の起源について考えさせる問題など、思考力を試されるものについては、市より8ポイントほど高い正答率を示すことができた。	地図やグラフなどの資料を読み取る活動を、授業の中で多く取り入れることで、資料活用 of 技能を育成するよう努めたい。また、情報機器を活用することで、地理的分野への興味関心を高めるとともに、地理ノートなどのワークショップを活用するなどして、自主学習能力の育成を図りたい。
歴史	我が国の歴史	小学6年生の歴史学習の最後に位置する領域であるが、いずれも市の正答率を上回っているものの、数値としては、決して高いものではなかった。特に、戦後の民主化政策などの問題については、正答率が10%代と低く今回最も正答率の低い領域となった。	社会的な思考判断表現を見る問題について、正答率が低くなる傾向があり、それに合わせて記述式の問題を苦手とする傾向が見られる。そこで、歴史的事象が与えた影響や、その原因を考えさせ、発表させるような活動ができる限り授業の中で取り入れることで、思考力の向上を図りたい。また、戦後の現代史の部分は、歴史的分野および公民的分野でも一部扱う内容となっており、社会的にも注目されている領域でもある。3学年では、今回の結果を踏まえ、他の時代に比べ理解が低い点を留意して扱うようにしたい。
	古代までの日本	歴史学習の入り口ということもあり、生徒の興味関心が高い。それに比例した形で、この領域の正答率は市全体でも高いものとなっており、本校でも全領域を通じて、最も高い正答率を示している。その中でも、比較的正確率の低い社会的思考判断を見る問題では、市と比較し8ポイント全国と比べても16ポイントも高い正答率を示すことができた。	
公民	我が国の政治	日本国憲法の三大原則については、正答率が8割以上と高い数値を示しているが、全国と比較すると約2ポイント下回ってしまった。その一方で、身近な事象が憲法の三大原則のどれと関係が深いのかを問われた問題では逆に全国の正答率を約8ポイント上回る結果となった。	小学校で学習してきたことを、3学年で学習する公民的分野につなげられるよう、既習事項を確認し生徒のよりよい理解につなげられるよう工夫したい。また、現実の社会的な事象と学習事項の関連を理解できていることから、今後も授業の中で、実際の社会との関連性に配慮し、社会的な事象への興味関心を大切にしていきたいと考えている。
	世界の中の日本	非常に高い正答率を示している領域の一つである。特に日本の国際化のグラフを読み取る問題では、市の正答率を7ポイント、全国の正答率を20ポイントも上回る数値を示した。国際社会における日本の姿について、生徒が十分に理解していることが見られた。	